

第150回 令和8年1月7日（水）

「旧交を温める。」

久しぶりに会う人でも、頻繁に会う人でも、私は基本的に聞き役に回ることが多いです。質問されたことには答えますし、楽しくないわけではないのですが「自分のことを自分から話す」ことは苦手です。

飲み会などで感心するのはみなさん本当に昔のことをよく覚えていることです。私は昔のことを片端から忘れていくタイプなので、何十年も前のこととスラスラと話すことができません。心底すごいなと思います。

教え子たちと食事に行く機会があります。部活の部員たちが多いので、当時の試合の話などに花が咲くのですが、私が言ったこと、やったことを本当によく記憶しています。「そんなことした？」と反応することが多いのですが、顧問の言葉は思った以上に生徒に伝わっているものです。

私の母校は50年と少しの歴史を持っています。1年に一度、母校出身で教員になっている方が集まる会があります。私は9期生なのですが、上は1期の方から、下は24期の方まで揃いました。

その席に1期生を教えた先生方もいらっしゃいます。92歳、91歳、85歳と続いて、70代はまだ若手、現役で働いていらっしゃいます。

90代の先生方がご挨拶なさるのですが、本当に昔のことを昨日のことのように面白おかしくお話ししてくださいます。1期生の悪ガキぶりや、学校ができたころの様子、グラウンドの石を拾ったこと、学校行事を作り上げたことなど。どんな記録集よりも大事な記憶だと思います。

91歳の先生とは方向が同じで帰りは電車で一緒します。ご病気をいくつかお持ちなので週に何回か病院には行かれられるようですが、駅の階段もまったく苦にせず、矍铄としています。足腰が大事だというお話をされました。両手の人差し指と親指で輪を作つて、それよりもふくらはぎが細くなってしまうと「フレイル」という寝たきり予備軍になてしまうそうです。

先生は家の畠を60歳から始めたということで、やはり農作業が足腰にいいのかもしれないと思いました。さすがに鍬をふるうのは厳しくなってきたということですが、できた作物をいろいろな人に配るのが楽しいそうです。まだまだおいしい野菜を作っていただきたいと思います。

今年の年末にも同じ会が開かれます。90代の先生方は次もこの会だけは参加すると元気いっぱいに宣言されていました。私もお会いできることを待ちにしています。

お体に気をつけてお過ごしいただきたいと思っています。